

2025-26

12・1 月号

vol.300

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

Communication & Voluntary



これまでの表紙が
大集合!!

特集

『COMVO』創刊300号 記念座談会

学生と考えるボランティアのこれから
「一緒に活動してみませんか？」



- 6 おいでよ！地域のこどもたち
「やってみたい」を形に！
こどもたちのワクワクを応援する居場所
しぶちー

- 7 体験から気づく視点を
日常の業務と生活へ
株式会社 乃村工藝社





やまじ ゆうと
山路 優人

桃山学院大学
社会学部ソーシャルデザイン学科(福祉)3年生
所属団体:学生団体 FIORE
趣味:Netflixでのドラマ鑑賞

あおき りあ
青木 莉彩

大阪学芸高等学校3年生
所属団体:公益財団法人
住吉隣保事業推進協会
趣味:食べること

はやし みはね
林 美羽

同志社大学
社会学部教育文化学科2年生
所属団体:NPO法人 Unity
趣味:ベース演奏

やまさき さえ
山崎 桜愛

大阪公立大学
現代システム科学域1年生
所属団体:大阪公立大学ボランティアセンター
趣味:友だちとのお喋り、
金曜ロードショー鑑賞



『COMVO』創刊300号 記念座談会 学生と考えるボランティアのこれから 「一緒に活動してみませんか？」



うえの や かよこ
上野谷 加代子

大阪市ボランティア・市民活動センター所長
桃山学院大学教授を経て、2005年、同志社大学教授として着任。現在は同志社大学名誉教授・日本医療大学教授。
専門領域は、地域福祉、コミュニティソーシャルワーク。『たすけられ上手 たすけ上手に生きる(全国コミュニティライフサポートセンター)』『ボランティア・市民活動実践論(ミネルヴァ書房)』など、著書多数。

ボランティア・市民活動情報誌『COMVO』は、「ボランティアや市民活動のはじめの二歩」を応援し、「活動のヒント」につながる情報を1994年4月の創刊以降発信し続け、今号で300号を迎えました。その一方で、担い手不足や、興味関心はあるけれど、なかなか一歩を踏み出せない現状も見られます。だからこそ、今後も活動者の思いや団体の力を広く届ける必要があります。節目となる今号では、これからの活動や地域を担っていく学生や若者へもボランティアの魅力発信すべく、大阪市ボランティア・市民活動センター上野谷加代子所長の進行的な取り組み、ボランティア活動に取り組む4人の学生による座談会を実施しました。

上野谷 今日は、みなさんがどんな活動に取り組み、今考えていることや今後の社会に期待することなど、気軽に話できればと思います。まずは、みなさんが現在、どんな活動をしているか教えてもらえますか？

青木 私は、『すみよし隣保館』で実施している複数のこどもの居場所で活動しています。その中の、『寿こども料理食堂』では、参加しているこどもたちと一緒に飯を作ったりしています。

林 私は、『NPO法人Unity』に所属し、毎週日曜日に小中学生を対象とした学習支援と、毎月1回開催している、工作や企業と協力しておこなうイベントの企画運営をしています。

山路 私が所属している『FIORE』では、地域の方たちの居場所の創出を目的とした『コミュニティカフェ』と、特別養護老人ホームで生活をする高齢者のみなさんに代わって思い出の場所などに向き、撮影・編集をして上映会をおこなう『SHARE TAB』の活動をしています。

山崎 私は、大阪公立大学のボランティアセンターで学生スタッフとして活動していて、ボランティアをしたい学生と、

ボランティアを探している団体をつなぐサポートをしています。また、自分自身もこども食堂や、地域などでボランティアに取り組んでいます。

ボランティアを始めたきっかけと広がる学び

山崎 みなさんは、なにがきっかけで活動を始めたんですか？

山路 私は、1年生の授業で先輩方が活動を紹介してくれたことで団体を知

りました。その後、学生の間に意欲的に挑戦し、自身の視野を広げられるような活動を始めたいと思うようになり、2年生から活動を始めました。

上野谷 『SHARE TAB』では、大勢の人の前で利用者さんからの聞き取りをおこなうの？

山路 基本的には学生数人で、利用者さんの部屋に行つて話を聞いています。

上野谷 特別養護老人ホームに入居している方だから、それぞれの状態などは知っておかないといけないもんね。聞き出す力が必要になるからいい勉強になるね。

山路 そつですね。私は介護コースなので実習があるのですが、実習前からこの活動をしていただくのが勉強になりました。

林 私は学習支援をしていて、こどもたちは学校の宿題や、通っている塾の課題を持つてくることが多いですが、教えるボランティアはその日、どんな勉強をするか全く知らない状態でこどもたちと会うので、臨機応変に教えたり、難しい問題を一緒に考えたり、他のボランティアにも聞きながら、みんなと答えを考える環境がいいなと思います。



活動を通して将来の夢へ近づく林さん

上野谷 塾とは違ってみんなで問題を一緒に考えられるのはいいね。でも、ひやひやする場面もある？

林 ありますね。最近だと、中学受験をする子が増えているので、塾の内容も難しくなっています。なので、「この問題わかる？」とボランティア同士で助け合いながら考えることもあります。

青木 私は、夏休み期間中の『宿題やろうディ』で宿題を一緒にしたり、防災について学んだり、看護体験などもあって、普段体験できない学びがあるのは良いなと思っています。

学び以外にも、みんなと一緒にプールに行くこともあり、高校ではできない経験をボランティアで得られることが楽しいなと思います。



『FIORE』による『SHARE TAB』の上映会の様子

上野谷 青木さんは何年くらいボランティアをしているの？

青木 私は、もともと小学生の時から『すみよし隣保館』がおこなっていた活動に参加者として足を運んでいました。その後、中学、高校と学年が上がり、ボランティア側に回って活動するようになりました。

将来を形づくる ボランティア活動の経験

上野谷 年上のお兄さん、お姉さんにしてもらっていたことを、今度は自身がする側になる循環ができているのは、地域の力でもあるね。これから進学しても活動は続けたいと思う？

青木 こどもたちとコミュニケーションが取れて、自分自身も楽しいので続けていきたいと思っています。

山崎 みんなで遊びに行く機会があるのはいいなと思いました。自分のこどもの時には、お兄さん、お姉さんと遊ぶ機会はなかったのですね。

上野谷 そんな山崎さんは、現在コーディネートをするスタッフとして活動していますが、これまでは自身もボランティア

アをしていた？

山崎 高校生のときは、地域おこしの活動に参加していました。また、高校の部活でSDG5について考えたり、総合的な探究授業に取り組んでいる時間が楽しかったんです。自分にも何かできることがないか漠然と考えていた時、活動自体はもちろんですが、自分は、人とのつながりをつくるのが楽しいと気づきました。

そこから大学受験で進学先を考えた時、大学のボランティアセンターにはボランティアをしたい人と探している人をつなぐ役割があると知って、「やりたいことこれだ！」と導かれ、今もいきいき活動をしています。



子どもと一緒に作品づくりをする山崎さん

上野谷 なるほど。楽しいという前向きな言葉は、キーワードになるね。それでは、学年が上がれば就活やインターンなどに励む時間も必要になってくると思うけど、インターンとボランティアは違う？

林 私は今、高校で先生の補助をする活動をインターンでしているので、小学生に関わっているボランティアと対象は違いますが、どちらもありががあると思っています。

教育に関連することを将来もやりたいと考えているので、ボランティアとインターンの両方で、興味のある分野での学びを深めていきたいと思っています。

上野谷 林さんは教員免許の取得に向けた勉強や、教育実習にも行かないといけないもんね。山崎さんも福祉関係の国家資格取得をめざして勉強していると思うけど、今の活動を活かせる就職先を考えているの？

山崎 介護士や社会福祉協議会の仕事に興味があり、視野に入れています。もともと、社会福祉協議会の地域住民への関わり方に関心があったので、今の活動を通して、地域の人たちと触れ合うことができればと思います。

ボランティアが育む成長と自信

上野谷 では、みなさんはボランティアをする前と今の自分の姿を比べたときに、変わったことや、活動を通して得られたこと、自信になったことはありますか？

林 私は、教育の業界ですつといたいと思っているからこそ、本当に自分がやりたいことを、活動を通して見つけることができたと思います。

山崎 私が活動をして身に付いた力は、状況把握力と主体性だと思っています。『コミュニケーション』で、休憩ができず同じ人がカレーやデザートを提供をしている時には、周りの状況を見て交代を促す声かけをしています。また、週1回程度おこなっている会議の場では、アイデア出しはもちろん、活動の広げ方や、今後の方向性を3年生同士で主体的に話し合っています。

上野谷 なるほど。大学入学前にもいろんな経験はしてきたと思いますが、ボランティアだからこそ身についた力や見つけることができたものがありますね。山崎さんはボランティアを調整するス

タッフとして運営に携わっていますが、いかがですか？

山崎 みんなで同じ方向を向いて取り組んでいたはずが、逸れてしまうことがあると、方向性をどのように戻していくか会議や活動の場で考えます。その時は、どんな思いで活動をしているのか、自分の中で持っておくことを、スタッフみんなで繰り返し大事にしています。

上野谷 青木さんは、小学生のときから活動に参加し、今は運営側になったと話がありました。が、団体の活動に対する思いや考え方に変化はなかった？

青木 小学生の時に参加していてすごく楽しかったので、運営側に回ってみた



こどもたちと一緒にカレーを作る青木さん

いなと思っていました。実際、運営側になると大変なことはあるけど、こどもたちが喜んで来てくれる姿を見るとやりがいを感じ、これからも続けたいと思います。

それぞれが紡ぐ私にとってのボランティア活動とは

上野谷 みなさんがとても主体的に活動していることを肌で感じましたが、自らの気持ち、力で行うと思うのがボランティアの醍醐味ですね。

では、みなさんにとって「ボランティア」を一言で表すとすればどんな言葉が浮かびますか？

林 私は、楽しいです。

今年、学習支援に来ている高校3年生の受験指導に関わることであり、もともと、興味のあった小中学生の不登校支援だけでなく、ボランティアを始めたことで、大学受験の支援など興味関心を広げることができました。

上野谷 興味や関心が広がったという意味では、楽しいだけでなく、どれだけ自分を変化させるエネルギーが発生したのかと思うとウキウキしますね。どう変わっていくかは未知数だけど、ボラ

ンティアにはそんな力がありますね。青木さんはどうですか？

青木 私は、人生の半分です。

参加者からボランティアと、とても長い期間活動に関わりがあるからこそ、日々の小さなやりとりや経験の中にも、学べるものがたくさんあり、自分自身の考え方や価値観にも大きな影響を与えてくれていると思います。

上野谷 なるほど。長く活動に関わってきたからこそ、いろんな影響を受けて育ち、その場で得た人間関係や、気づきなどが今の自分を形作る大きな要素になっているというのは素敵なことですね。

山崎 私は、ライフワークです。

スタッフとして活動して、ボランティアは別に…と言っていた人が「活動に参加してよかった。また行きたい」や、「これからいろんなことができそう」と話している姿を見るとすごく嬉しいです。みんなが笑顔になるのを、人をつなげる立場からつくることのできるのはすごく楽しいなと思うので、それをライフワークにしたいなと思っています。

山路 私は、居場所の創出です。

『FORE』の目的が居場所の創

出でもあるのですが、地域住民の居場所でもあり、我々学生の居場所でもあると思っています。もともと、大学のゼミ活動から始まっていますが、卒業した後にも戻ってこれる居場所であり、先生たちともつながることのできる居場所になっていると思います。

上野谷 活動の楽しかったことや苦しかったことと合わせて、自分の変化を実感できているのは凄いです。

実際のボランティア活動の様子と、そこから得られた変化やエネルギーがみなさんの言葉から見えてきたので、これからボランティアを始める人、始めたい人たちの次の一歩を後押しするエールになればと思います。みなさんありがとうございました。



座談会が新たなつながりにもなりました

いつでもどこでも子どもの権利を当たり前!

認定NPO法人CAPセンター・JAPAN

<https://cap-j.net>

CAPセンター・JAPANは子どもの人権が尊重され、子どもへの暴力のない社会をめざして活動しています。日本での活動は30周年を迎え、これまで610万人以上のおとなと子どもの皆さんにCAPプログラムを提供してきました。CAP (Child Assault Prevention) はキャップと読み、子どもへの暴力防止という意味です。

自分を大切にと思い、適切な知識があれば、もしものときに自分の心とからだを守る行動をとることができます。そのために、自分には権利があることを知り、暴力について学んでおくことが大事です。CAPでは、自分を大切にするために、子どもには“あんしん・じしん・じゆう”の権利があると伝えます。未就学児、小学生、中高生、障がいのある子どもの発達に応じたプログラムで、楽しく学ぶことができます。

おとなの皆さんも、予防的観点をもって、暴力につ

いて子どもと共通認識を持ち、子どもがSOSを発信しやすい環境づくりに備えてください。

CAPセンター・JAPANでは、子どもの権利や暴力防止に関する啓発セミナーや書籍の頒布、SNS情報発信も積極的に行っていますので、詳しくはホームページをご覧ください。

子どもたちが安心して安全に生活できる社会を一緒につくってまいりましょう!



CAP子どもワークショップの様子



交流会の参加者は他の国の文化に興味津々

『特定非営利活動法人 Deep People』は、環境問題やこども、留学生の抱える課題解決や、社会課題について自ら考え、解決できる人材育成に取り組んでいます。その中で、昨今の大阪市内における外国籍住民の増加に伴い、海外にルーツのあるこどもが、日本の学校や生活に馴染めず、孤立してしまうという課題の解決に取り組んでいます。

「私たちは、海外にルーツのあるこどもたちが安心して日本の文化や学習に取り組めるようサポートをしています。支援する中で心のサポートの重要性に気づき、『ネイティブ・ランゲージ・ルーム・プロジェクト』(以下、プロジェクト)を立ち上げ、こどもたちと留学生がつながる環境づくりを行うことになりました」と、スタッフのゴクさん。

このプロジェクトは、オンラインを活用した母語での居場所づくりを中心に、年に2回対面の交流会を実施。「共通の言語で話せることが嬉しい」「いろんな国のことを知れて楽しかった」と、交流会に参加したこどもたちは笑顔で話してくれました。

「母語で話せる安心感から会話が生まれ、活動後に笑顔が見れることがやりがいです」と、ゴクさん。こどもたちと留学生が交わる活動を通して、日本や母国、自分自身を好きになり、今後の社会や地域に貢献する人材が増えることに期待がふくらみます。

特定非営利活動法人 Deep People
(担当:グエン ゴク)
TEL:06-6447-7791
<https://www.deeppeople.jp/nlr/>

母語がつなぐ。外国にルーツのあるこどもたちの笑顔

特定非営利活動法人 Deep People

※令和7年度大阪市ボランティア活動振興基金
学生・若者が取り組むボランティア活動交付団体へ突撃取材

※学生や若者が主体的に地域課題の解決に取り組む活動への支援

おいでよ！地域のこどもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がるこどもの居場所づくりの取り組みをご紹介します。

「やってみたい」を形に！こどもたちのワクワクを応援する居場所

しぶちー(中央区)

中央区の谷町九丁目駅から坂道を下っていくと、神社の一角からぎやかな声が聞こえてきました。その声を頼りに鳥居をくぐって公園内の石畳道を進むと、「しぶちー」代表の高橋佳代さん(以下、高橋さん)と男の子が「エイッ！ヤアッ！」と、チャンバラっこを楽しんでいました。



月1～2回、休日はみんなで自然の中を大探検！

公園の前にある古民家で、毎週月・水・金曜日の朝9時～14時半に開かれているフリースペース型



バルーンアート同好会のみなさんと一生懸命制作中

の居場所『憩い(いこい)』は「しぶちー」の活動の一つです。不登校や学校を休みがちな小中学生が平日の朝から通え、工作やゲーム、外遊びなどをして自由に過ごすことができます。

『しぶちー』では、『憩い』のほかにも、自然の中でハイキングをしながら心と体をリフレッシュさせる『わくわく探検隊』や、支援者がひきこもりがちなこどもの自宅を訪

『憩い』に来て何をするにしろいいのからず戸惑っていた子もいたのだそう。

問してこどもと遊びながらコミュニケーションをとる『ドキドキフリ隊』など幅広い活動を行っており、「学校は苦手でも、友だちと一緒にさまざまな体験をして、豊かなこども時代を過ごしてほしいんです」と、高橋さんは話します。

「私はこどもたちの『先生』ではなく、どんなときも自分を受け入れてくれる『かよさん』でありたい。『手いか下手か』ではなく、こどもたちの『やりたい』や『作りたい』気持ちに目を向けて、それを形にする過程を一緒にワクワクしながら応援することが私の役目です。そうしているうちに、こどもたちの心にやりたいことがいっぱい芽生えてきて、自分の言葉で教えてくれるようになりました」と、はにかみながら話しま

こどもたちは高橋さんのことを「かよさん」と呼び、「かよさん、今日は工作をしよう！」次はオリジナル鬼っこをしたい！」と、目を輝かせています。しかし、初めからそうだったわけではありません。



『憩い』の看板めいぐるみ“なぞた”の絵。こどもたちにも大人気です。

す。さらに、「こどもたちの笑顔、変化や成長、自由なアイデアの数々が、私の喜びであり原動力です」と、頷きながら言葉を続けました。今後は、『ドキドキフリ隊』をひきこもりがちなこどもたち、家の中で色んな楽しい経験ができる活動へと展開していきたいと語ります。そのために、自分の趣味や特技を生かして「こどもたちに楽しい体験を提供してくれる人」を大募集中!! 今日わくわく・ドキドキが未来への一歩となるように、「しぶちー」とこどもたちの「やってみたい」への挑戦はこれからも続きます。

しぶちー

TEL:090-6338-4211

<https://shibuchi.com/contact/>

情報マーケットP.10⑦にボランティア情報を掲載

体験から気づく視点を日常の業務と生活へ

株式会社 乃村工藝社 心のバリアフリーイベント『バリア体験会』

東京に本社を置く『株式会社 乃村工藝社』以下、乃村工藝社は、主に商業施設や博物館などが人が集う空間の総合プロデュースをおこなう企業で、人権尊重、働き方・多様性の受容、人材育成を方針に掲げ、年齢や障がいの有無など幅広い多様性を受け入れるための基盤づくりに取り組んでいます。そんななかで、大阪事業所が、令和7年11月19日(水)に『バリア体験会』(以下、『体験会』)を実施しました。

「昨年、東京本社で車いす、高齢者、視覚・聴覚障がいについて学ぶ『バリア体験会』がおこなわれた時、車いす体験の講師として参加しました。その時、



自動販売機のボタンの高さも普段とは違って見えます

「日常生活や業務に活かすことができる新たな気づきがあった」と参加者からの感想を聞き、東京だけでなく大阪でも開催してみたいと思いました」と、



動きや見え方が制限された状態で、小銭の支払い体験

乃村工藝社社員の西崎哲男さん(以下、西崎さん)は『体験会』を計画したきっかけを話します。

『体験会』当日は、大阪市浪速区社会福祉協議会と大阪市ボランティア・市民活動センターが講師を務め、車いす体験と高齢者疑似体験を通して福祉教育を実施。

車いす体験では、参加者が2人1組となり、低い段差やスロープなどが設けられたコースを周回しながら、車いすに乗る側と介助する側の両方を体験。体験後には、整備された道でも振動を感じた「部屋の開錠のために設置されているカードキーの位置が高く感じ、車いすに乗ったことで目線の違いなどを体感した」初対面の人の介助をする時には安心してもらえるよう、声をかけを大事にしたいなどの感想を共有し、利用者の気持ちを理解するとともに、適切な介助方法を学びました。

高齢者疑似体験では、見えづらくなるゴーグルや筋力低下を体感するために手足首の重りなどを装着し、階段昇降や日常動作を体験しました。「腰が曲がった体勢になり、見えづらく、聞こえづらくなると周囲の状況把握が困難になり、音などに反応できていないのではと不安になった」「音の聞こえづらさを体感し、親がテレビの音量を最大にしている理由がわかった」と、加齢に伴う身体状況の変化を理解するとともに、普段の暮らしの中で関わる人たちとの接し方にも活



西崎さんは、23歳の時から車いすで生活

かせる気づきが得られる機会となりました。

今回の『体験会』を通し、「実際に感じた目線の高さや感覚の違いを持ち帰り、業務や日常生活に活かしてもらいたい」と、西崎さん。誰もが暮らしやすい社会や地域の実現には、まず「知る」ことから始まります。今後一人ひとりが思いやりの心を持ち、行動に移せるような福祉教育の取り組みを続けていきます。

大阪市ボランティア・市民活動センター

TEL:06-6765-4041 FAX:06-6765-5618

Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp

<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>



自分自身が主人公である ふくしを考える『福祉教育』

福祉教育は、こどもや高齢者、障がい者、外国籍の人など、地域で生活をしているすべての人が差別や排除をされたりすることなく、尊重され、一人ひとりが自分らしく生活することのできる“地域共生社会”の実現に向けた取り組みです。

ふくし（福祉）という言葉には、「ふだんの 暮らしの しあわせ」という意味も込められています。決して特別なものではなく、自分自身の生活に身近であることを実感し、我がごとにながら相手を思いやる気持ちを育むことのできる福祉教育の推進をめざしています。

大阪市内の各区社会福祉協議会では、区内の社会福祉施設やボランティア活動者などと連携・協働しながら、小中学校を中心に、地域や企業などを対象とした多様な福祉教育に取り組んでいます。

ふだんの 暮らしの しあわせ



各区で取り組む福祉教育

体験学習

高齢者や障がい者のふだんの暮らしを体験し、街中での工夫点（ユニバーサルデザイン）に気づき、自分たちにできることを考えます。

- 高齢者疑似体験
- 車いす
- アイマスク
- 手話 など

講座・交流

ボランティアや障がいに関する基本的な理解を深める講座に取り組んでいます。

また、車いすを利用している人や、視覚障がいの人から日常生活の話聞く機会もあります。

- ボランティアとは
- 当事者講話
- 防災学習 など

障がい者スポーツ

競技の楽しさだけでなく、誰もが参加できる魅力や、障がいの有無にかかわらず互いの“できること”にスポーツを通して目を向けます。

- ボッチャ
- 車いすバスケ
- ゴールボール など

一緒に福祉教育に取り組むサポーターを養成 （此花区）

此花区社会福祉協議会では、2018年の養成講座を機にグループ化された、『福祉教育サポーター』（以下、サポーター）が、福祉教育の場で活躍しています。

主な活動は、学習者が安全に車いすなどの体験ができるような見守りや介助方法の声かけです。また、福祉教育当日の協力だけでなく、月1回の定例会では学習内容の検討や、これまでの振り返りをおこない、今後の福祉教育がより良い学びの時間となるよう工夫点、改善点などについて話し合われています。

小学校で福祉教育を実施した後日、その地域に住む小学生から「この前来てくれた人だ!」と声をかけら

れることもあり、福祉教育をきっかけに、地域での交流が生まれた喜びもサポーターのやりがいになっています。

福祉について学び、助け合いの気持ちを育むことが住みやすい地域づくりにつながる。福祉教育に協力するサポーターの養成が各区でも広がっています。



福祉教育でおこなうプログラムを講座受講者も体験

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

③第33回 OWFボランティア募集

関西国際交流団体協議会

<https://onefes.net/>

西日本最大級を誇る国際交流のお祭りワン・ワールドフェスティバルのボランティアを募集します。

日 程 2/7(土)・8(日) 8:30~17:00 (半日も可)

場 所 梅田スカイビル (北区大淀中1-1-88)
JR「大阪」駅から徒歩7分
地下鉄「梅田」駅から徒歩9分

人数・条件 高校生以上 定員:200人

申込方法 HP 締切:12/22(月)

問合せ▶ TEL/06-6777-1039

Eメール onefes.volunteer@onefes.net



①機関紙「あるる箱」の発送作業のお手伝い

特定非営利活動法人あるる

<https://www.npo-aruru.com/>

発送作業を一緒にしませんか? A3用紙に印刷したものを半分に折り、それを差し込んで冊子にしています。おしゃべりしながら和気あいあいといけます。

日 程 1/19(月)~23(金) 11:00~15:00

場 所 ベルエキップ・オグラン(都島区中野町3-4-21 1階)
地下鉄「都島」駅2番出口から徒歩10分
JR「桜ノ宮」駅東口から徒歩10分

人数・条件 どなたでも

申込方法 TEL・Eメール 締切:1/16(金)

問合せ▶ TEL/06-6355-3701

Eメール cilaruru@npoaruru.com



④患者さんに寄り添う活動をしてみませんか

大阪府済生会中津病院 ボランティア「こもれび」

<https://www.nakatsu.saiseikai.or.jp/>

ロビー案内、患者図書室の開館サポート等、病院内でのボランティア活動です。思いやりある“こもれび”の陽射しのような活動をお願いします。

日 程 毎週月~金曜日 9:00~16:00 (1回2時間以上)

場 所 大阪府済生会中津病院内(北区芝田2-10-39)
地下鉄「梅田」駅5番出口から徒歩3分
阪急「大阪梅田」駅茶屋町出口から徒歩5分
JR「大阪」駅御堂筋出口から徒歩7分

人数・条件 16歳以上の心身ともに健康で継続して活動できる方
定員:約10人程度

申込方法 TEL・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6372-0333

Eメール vol@nakatsu.saiseikai.or.jp



②第3回うさぎりんくフェスティバル ボランティア募集

NPO法人うさぎりんく~サードプレイスを住吉区に~

<https://usagirink-fes.jimdofree.com/>

日本一幸せな街にしようが合言葉。こどもも、大人もにっこり、ほっこりして元気になる。そんなフェスティバルのお手伝いをしてもらえませんか。

日 程 1/25(日) 10:00~16:30

場 所 荻田土地改良記念会館(住吉区荻田9-5-27)
地下鉄「あびこ」駅3番出口から東へ徒歩5分

人数・条件 どなたでも 食事あり 定員:5人

申込方法 TEL・Eメール・HP 締切:12/31(水)

問合せ▶ TEL/080-1940-0405

Eメール npo.usagi.link@gmail.com



ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3 約束やルールは必ず守ろう!

Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



⑨ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

住之江区子ども・子育てプラザ

<https://osaka-kosodate-suminoe.net/>

こどもの預かりや送迎等で地域の子育てを応援する有償活動、ファミリー・サポート・センターの提供会員を養成する講座です。

日程 1/15(木)・22(木)・29(木) 2/5(木)・7(土)・12(木)・19(木) 全7回
13:00～17:00(日によって開始、終了時間が異なります)

場所 住之江区在宅サービスセンターさざなみ(住之江区御崎4-6-10)
地下鉄「住之江公園駅」1番出口から徒歩10分
大阪シティバス「御崎3丁目」下車すぐ

人数・条件 大阪市内在住で19歳以上の方
定員:20人 参加費:無料

申込方法 TEL・FAX・HP 締切:1/8(木)

問合せ▶ 大阪市ファミリー・サポート・センター住之江支部(住之江区子ども・子育てプラザ内)
TEL/06-6674-5415 FAX/06-6674-5415
Eメール plaza@osaka-kosodate-suminoe.net

⑩ゆにばーさる寄席

NPO法人 国際落語振興会

<http://koharudanji.com/>

聴覚にハンデのある方や日本語を勉強している外国人も楽しめる。
日本語字幕で楽しむ落語。落語の他、鳴り物の解説も。
出演:桂小春團治

日程 1/17(土) 10:00～12:00

場所 神戸新開地喜楽館(兵庫県神戸市兵庫区新開地2-4-13)
神戸高速・阪神・阪急・山陽・神戸電鉄「新開地」駅から徒歩2分

人数・条件 どなたでも 定員:200人(先着順)
参加費:前売3,000円/当日3,000円

申込方法 FAX・Eメール・HP・来所 締切:1/16(金)

問合せ▶ 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-22-7-602
TEL/06-4305-3523 FAX/06-6445-7146
Eメール kokusairakugo@gmail.com

⑪第24回 子育てボランティア養成講座

阿倍野区子育てボランティア養成講座実行委員会

<https://x.gd/XQw1mM>

「地域で育もう 子育ての輪」

子育て支援に興味・関心のある方、子育てボランティアをはじめてみませんか

日程 1/20(火)・27(火)・2/3(火)・10(火) 各日10:00～12:00

場所 第1回 阿倍野区役所(阿倍野区文の里1-1-40)
第2・3回 阿倍野区社会福祉協議会(阿倍野区帝塚山1-3-8)
第4回 阿倍野区子ども・子育てプラザ(阿倍野区阪南町2-23-21)

人数・条件 阿倍野区内の子育て支援に興味・関心のある方
※お子様連れでの参加は不可となっております

定員:20人(多数抽選)
参加費:全4回で1,000円(資料・保険料等)

申込方法 TEL・郵便・来所 締切:12/25(木) 必着

問合せ▶ 特定非営利活動法人こももネット(こもものひろば阿倍野筋)
〒545-0052 阿倍野区阿倍野筋5-1-17 TEL:06-6657-6966

⑫天体観察会「木星、土星、月を見よう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

めずらしい、斜めの環で「たこ焼きに爪楊枝を刺したように見える土星」を天体望遠鏡で見ます。木星、月も見ます。

日程 1/24(土) 18:00～20:30(時間制限30分間の入替制)

場所 大阪市立荻田南小学校(住吉区荻田10-1-35)
地下鉄「あびこ」駅3番出口から南東へ徒歩10分

人数・条件 どなたでも 定員:各班50人(合計200人)(先着順)
参加費:無料

申込方法 HP 申込期間:1/15(木)～1/22(木)

問合せ▶ TEL/090-8121-6929
Eメール k337yjunamg@gmail.com

⑤あなたの一芸を小さな社会貢献に役立てませんか?

なにわ演芸ボランティア

老人ホームや福祉施設で月1～2回、演芸ボランティアを実施しています。
例えば落語やMagic、郷土芸能や歌など、演芸のジャンルは問いません。自慢できる一芸をお持ちの人、是非お待ちしております。

日程 月に1～2回(日曜日・祝日)

場所 大阪・京都・神戸等の高齢者施設・福祉施設・自治会などを中心に活動

人数・条件 秀でた一芸をお持ちの人 ご自分の車で移動できる人歓迎
会費:1回につき2,000円(弁当代・トランクルーム収納代として)

申込方法 TEL・FAX

問合せ▶ TEL/06-6621-9171・090-9284-4193
FAX/06-6621-9181(担当:新垣)

⑥弦楽器と手話コーラスのボランティア団員募集

福祉の管弦楽団まごころ

<http://www.orch-magokoro.com/>

福祉施設への訪問演奏、地域イベントでの演奏を一緒にしましょう!
弦楽器、特にチェロとコントラバス奏者急募中!中高年也大歓迎!
手話コーラスは手話未経験の方も大歓迎です。指導対応致します。

日程 毎月 日曜日 2回程度 各日13:00～16:30(出欠は自由です)

場所 大阪市立都島区民センター(都島区中野町2-16-25)
JR「桜ノ宮」駅から徒歩約10分
JR「京橋」駅北出口から徒歩約10分

人数・条件 どなたでも
まずは練習(例会)を見学にお越しください。

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶ Eメール magokoro@gold.ocn.ne.jp

⑦子どもの居場所「憩い」で不登校の子どもたちの見守りボランティアさん募集中

しぶちー

<https://shibuchi.com/>

子どもたちと鬼ごっこや工作やオンラインゲームなどを楽しみながら、
安全を見守るお手伝いをお願いします。
(おしゃれやネイル、工作、動画関連の趣味や特技を生かして子どもたちに楽しい経験を提供してくださる方も募集しています!)

日程 毎週月・水・金曜日(祝日除く)10:00～14:30頃

場所 高津宮いやさかの家(中央区高津1-1-17)
地下鉄「谷町九丁目」駅から徒歩5分
地下鉄「日本橋」駅から徒歩10分

人数・条件 週2日～月2日までの頻度で長期間来ていただける方
交通費あり 昼食と飲み物持参

申込方法 Eメール・HP(問合せフォーム)

問合せ▶ Eメール shibuchi@vesta.ocn.ne.jp
問合せフォーム <https://shibuchi.com/contact/>

⑧Entieまち美化

特定非営利活動法人日本ボランティア研究会Entie

<http://entie.org>

出会い!繋がり!の場。天神橋周辺道路・堀川神社境内の清掃活動!

日程 毎月第1日曜日9:00～10:30頃

集合場所 イベントスペース(北区天神橋2丁目北2-26)
地下鉄「南森町」駅3番出口
JR「大阪天満宮」駅3番出口

人数・条件 どなたでも 参加費:100円

申込方法 TEL・FAX・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/06-7172-2005 FAX/06-7172-2005
Eメール entie@outlook.jp

⑰不登校親の会 開催

フラワーズ

<https://flowers590.jimdo.com/>

皆さんの周りに不登校の子の保護者はいませんか？
安心して語り合いませんか？月1回、日曜日は区民センターで開催。

日 程 毎月第1・第3月曜日、12/21(日) 各日10:00～12:00

場 所 西成区社会福祉協議会(西成区岸里1-5-20 西成区合同庁舎8階)
地下鉄「岸里」駅直結
地下鉄・南海「天下茶屋」駅から徒歩5分
※西成区民センター(西成区岸里1-1-50)

人数・条件 どなたでも 参加費:500円

申込方法 TEL・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/050-3748-8781

Eメール sm59005@yahoo.co.jp

⑱囲碁同好会

大成小学校囲碁クラブ

囲碁を何局でも好きなだけ対戦出来ます。初心者大歓迎。
月1回プロ棋士の講座及び対戦も有り(1局のみ)。

日 程 毎週土曜日 17:00～20:00

場 所 大阪市立大成小学校内 多目的室(東成区大今里西3-2-62)
地下鉄「今里」駅から徒歩6～8分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール htakondo@yahoo.co.jp (必ずお名前と電話番号を明記下さい)

⑬関西いのちの電話 第43回公開講座 「ケアとは何か ～他者を支える全ての人へ～」

社会福祉法人 関西いのちの電話

<https://kaind2.com>

大阪大学人間科学研究科教授 村上靖彦氏。主な著書「ケアとは何か 看護・福祉で大事なこと」「子どもたちがつくる町 大阪・西成の子育て支援」

日 程 1/31(土) 14:30～(開場は14:00～)

場 所 ドーンセンター ホール(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
(中央区大手前1-3-49)
京阪・地下鉄「天満橋」駅1番出口から東へ350m
JR「大阪城北詰」駅2番出口から550m

人数・条件 どなたでも 参加協力費:1,000円(当日券1,200円)

申込方法 TEL・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6795-4860 FAX/06-6795-4861

Eメール jimukyoku@kaindinochi.com

⑭「しせつ」で暮らすこどもと週末里親

東住吉区社会福祉協議会

<https://sawayaka-c.ne.jp>

週末里親や施設で暮らすこどもたちについて話をきいてみませんか？

日 程 2/7(土) 10:00～12:00

場 所 東住吉区社会福祉協議会(東住吉区田辺2-10-18)
地下鉄「田辺」駅から徒歩8分
近鉄「今川」駅から徒歩8分

人数・条件 どなたでも 定員:15人(先着順) 参加費:無料

申込方法 TEL・Eメール・来所 ※申込開始:12/15(月)～

問合せ▶ 〒546-0031 東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター

TEL/06-6622-6611

Eメール tikatu4@sawayaka-c.ne.jp

⑮週末里親ってなあに？

一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟 里親支援委員会

児童福祉施設で生活しているこどものための週末里親というボランティア制度の説明会です。活動中の週末里親さんの体験談もあります。

日 程 2/15(日) 13:30～15:30

場 所 旭区民センター3階 集会室1(旭区中宮1-11-14)
地下鉄「千林大宮」駅4番出口から徒歩10分
大阪シティバス「旭区民センター」下車すぐ

人数・条件 どなたでも 定員:24人 参加費:無料

申込方法 FAX・Eメール(メールの件名に「週末里親ってなあに?申込」と記入してください)
締切:2/13(金)

問合せ▶ TEL/06-6699-7221 FAX/06-6699-7243

Eメール holyfamily@luck.ocn.ne.jp

⑯伊丹昌一先生講演会「学校で困っている子どものどうする?どうなる?」

つばみの会・なぎtime/天王寺区社会福祉協議会

学校で「落ち着きがない」など気になることを言われていますか。しかし、それらの行動には理由があるのです。子どもの視点から一緒に考えましょう。

日 程 3/7(土) 14:00～17:00

場 所 天王寺区民センター 1階ホール(天王寺区生玉寺町7-57)
地下鉄「四天王寺前夕陽丘」駅2番出口から徒歩2分

人数・条件 どなたでも 定員:150人 参加費:無料

申込方法 TEL・FAX・Eメール 締切:2/21(土)

問合せ▶ 天王寺区社会福祉協議会

TEL/06-6774-3377 FAX/06-6774-3399

つばみの会なぎ・time

Eメール b5430053@yahoo.co.jp

⑲令和8(2026)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成

一般財団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団

<http://www.hc-zaidan.or.jp/program.html>

「住まいとコミュニティづくり活動助成」は、ハウジングアンドコミュニティ財団の自主事業として1993年度から開始したユニークな助成プログラムで、市民の自発的な住まいづくりやコミュニティの創出、そして、地域づくり活動を一貫して支援してきました。今年度は、「今日の住まいとコミュニティに関する多様な社会的課題に取り組む活動」に助成を行います。

助成対象 営利を目的としない民間団体(特定非営利活動法人、法人化されていない任意団体など)
※詳しくはHPを参照

助成金額 1件あたり120万円以内

応募方法 HPから応募要項・申請書をダウンロードし、必要事項を入力の上、提出書類を添付して郵送
※詳しくはHPを参照

応募締切 1/9(金)必着

問合せ▶ 一般財団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団(助成係)

TEL/03-6453-9213 FAX/03-6453-9214

⑳2025年度 助成事業

公益財団法人 ノエビアグリーン財団

<https://www.noevirgreen.or.jp>

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、児童、青少年の健全な育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。

助成対象 【団体】児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を行っている団体
【個人】将来、世界大会やオリンピック、パラリンピック出場等を目指すアマチュアスポーツ選手(18歳以下)

助成金額 1件あたり上限300万円

※年間の助成件数、各々の金額は選考委員会にて決定。

応募方法 「助成サポートシステム」から申込み ※HP参照

応募締切 1/15(木)正午12:00

問合せ▶ 公益財団法人ノエビアグリーン財団

TEL/03-5568-3388 Eメール info@noevirgreen.or.jp

アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎号3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>
(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO300号係」まで
(住所は下記参照)



※締め切り 2026(令和8)年1月10日(消印有効)
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



②2025(令和7)年度 第27回 社会貢献基金助成

一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団 <https://www.ceremony-culture.jp/social/service/fund/>
一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会 <https://www.zengokyo.or.jp/social/fund/>

生活文化の基盤として、人々が支え合う豊かな社会の形成に寄与してきた年中行事や人生儀礼等、冠婚葬祭儀式文化の承継及び発展に資する調査・研究事業、冠婚葬祭承継事業並びに社会福祉事業、環境・文化財保全事業、地域つながり事業等の社会貢献活動を行う各種団体等に対する助成を行います。

助成対象事業 (1)研究助成事業 (2)冠婚葬祭承継事業 (3)高齢者福祉事業 (4)障がい者福祉事業 (5)児童福祉事業 (6)環境・文化財保全事業 (7)地域つながり事業

助成金額 助成対象事業(1)及び(2) 総額300万円(上限1件あたり50万円) ※詳細はHPを参照
助成対象事業(3)～(7) 総額1,000万円(上限1件あたり200万円) ※詳細はHPを参照

応募方法 対象事業により応募先が異なる為、詳細はHPを参照

応募締切 2026/1/31(土) 必着

問合せ▶ 助成対象事業(1)及び(2) 一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団(社会貢献基金助成 運営事務局) TEL/03-6273-3930
助成対象事業(3)～(7) 一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会(社会貢献基金助成 運営事務局) TEL/03-3596-0061



②2025年度 近畿ろうきんNPOアワード

近畿労働金庫

https://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/

子どもや子育てに関わる支援など「未来に活かす」多彩なプログラムをすすめるNPO法人やボランティア団体の事業に助成します。

助成対象 ①子どもの成長を応援する事業 ②子育て環境を整える事業
※詳細はHP参照

応募対象 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行うNPO法人、労働者協同組合、一般社団法人(非営利型)、法人格のない任意団体

助成金額 (50万円コース)または(10万円コース)

応募方法 HPから申請書をダウンロードして必要事項を記入のうえ、提出書類を添付して郵送
※詳細はHP参照

応募締切 2/2(月) 必着

問合せ▶ 近畿労働金庫 地域共生推進室
TEL/06-6449-0842 FAX/06-6449-1414

オリジナルサコッシュをプレゼント!!

いつも情報誌『COMVO』をご愛読いただきありがとうございます。
ごぞいます。

上段の読者アンケートにご協力いただいた皆さまの中から抽選で毎号3人に、『COMVO』オリジナルサコッシュをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、FAX、EメールまたはQRコードからお送りください(P.14参照)

両面ポケット付き!!
肩がけで便利に使える
小型バッグ
縦220×横170mm



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618

Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2026年2月15日発行号(2・3月号)に掲載希望の場合は2025年12月末日まで)



おくはつくん

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。
誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



ダイハツ工業の社員から、車の組み立てについての教えてもらっている様子

『Unity』では学習支援だけでなく、居場所づくりにも力を入れており、勉強だけでなくイベントを通して子どもたちと関われる点に魅力を感じています。最近では、高校生が主体となって、ダイハツ工業さんの協力を得てものづくり体験イベントを行いました。普段は机に向かうのが苦手な子が夢中になって取り組む姿が印象的で、

将来は福祉に関わる仕事がしたいと考えていましたが、福祉には多くの分野があり、自分が思い描く福祉を知るためには実際に経験することが大切だと思い、この活動に参加しました。

無料塾ボランティアでの私の気付き

私は『NPO法人Unity』

の『あじあー』という活動で学習

支援のボランティアをしています。

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

連載リレーコラム

No.54

がんばれ!

それゆけ!



大阪女学院高等学校
中谷 佑良莉

プロフィール

所属団体: NPO法人Unity
趣味: ピアノ
学年: 3年

学びの可能性は勉強だけでなく体験の中からも広がるのだと実感しました。また、学生の立場でありながら企業の方との打ち合わせにも参加させていただき、貴重な経験になりました。

『Unity』では、年齢や立場に関わらず一人ひとりの思いや考えを尊重し、挑戦を応援してください。ここは子どもにとって安心できる居場所であると同時に、私にとっての居場所でもあります。ここでの学びを、将来にもつなげていきたいと思っています。

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)

※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉)

エントリーはこちらから▶



24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668

ボランティア・市民活動情報誌 コンボ 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年6回発行 各40,000部
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	120×170
本文 1ページ	156,000円	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	120×170
本文 1/4ページ	46,500円	60×170

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

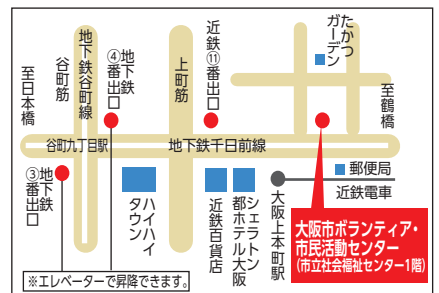
TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail ocvac@osaka-sishakyo.jp HP <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2025年12月15日
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区社会福祉協議会、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫内の店舗など

※大阪市ボランティア・市民活動センターでは、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。



“行きたくない”ではなく“行けない”

～不登校から見てくる子どもたちの気持ち～

第一部 映画上映

「絆王子と無限の一步」



ハルコが不登校になった。理由は誰も知らない。幼馴染・カイトは、ハルコの書く小説「絆王子と無限の一步」を介して彼女の気持ちを知ろうとする。不登校児・ヒバリはハルコを不登校仲間に取り入れようとする。クラスの優等生・サクラはハルコを学校に連れ戻すために策を練る。それぞれの求める“正しさ”が、苦い痛みと共に絡み合う。実体験を基に描かれる、答えのない問題と向き合う少年少女たちの物語。

不登校について、みなさんで考えてみませんか。

第二部 トークセッション



八柳 まごいち 氏

とまりぎクリエイターズ 代表

「絆王子と無限の一步」の企画・原作・プロデューサー。放課後等デイサービスの児童発達支援管理責任者として発達特性や不登校傾向の子どもたちの支援を行う傍ら、舞台企画・脚本を中心に表現に携わる。



K Z 氏

梅田サイファア

アーティストとして、梅田サイファアの「KZ」の名で活動する傍ら、自身が不登校・引きこもりを経験したことから、講演活動などを通じて、元当事者としての経験談や当時の心境などを語り、不登校理解の促進に尽力している。



倉石 哲也 氏

武庫川女子大学 教授

家族を中心としたソーシャルワークに関する教育・研究に携わり、こどもの心のケアや不登校、虐待等の課題を抱える家族の支援について取り組んでいる。また、こども家庭庁こども家庭審議会委員や、大阪府こども家庭審議会会長をはじめ数多くの委員を兼任。

日 令和8年1月24日(土)

時 13:00～16:00(受付は12:30～)

会 大阪府教育会館たかつガーデン 8階
場 大阪市天王寺区東高津町7-11

定員 250人(先着順)

対象 こどもの居場所や不登校等に関心のある人

参加費 無料

申込み 令和8年1月19日(月)までに申込みフォームまたは裏面の申込用紙から
FAX(06-6765-5618)でお申し込みください



手話通訳あり



申込みフォーム

